

令和4年度第2回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時 令和4年11月10日(木) 午後2時から午後3時20分
開催場所 狭山市立中央公民館第1ホール
出席者 野口委員、齋藤委員、横江委員、高橋委員、小熊委員、田口委員、大井川委員、横田委員、折居委員、平野委員、細田委員、名雲委員
欠席者 工藤委員、中村委員、小林委員
教育委員会 内藤生涯学習部長、關根生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務、石井社会教育課長
公民館 内出中央公民館長、高取富士見公民館長、田中入曾公民館長、池之谷水野公民館長、緑川堀兼公民館副館長、宮崎狭山台公民館長、北田新狭山公民館長、忍成奥富公民館長、田中柏原公民館長、峯岸広瀬公民館長、三浦水富公民館長、原中央公民館副館長
傍聴者 なし

1 開会

2 委員長、生涯学習部長あいさつ

3 議事

(1) 各公民館の令和4年度上半期の事業報告について

資料に基づき各公民館長及び担当者から上半期の特筆すべき事業について説明。

委員 今年の市民文化祭を見学した感想として、公民館サークルが危機的状態であると感じた。というのは、かつては出品数が多く、サークルごとの出品数の制限があったが、今は一人で4～5点出品している状況であった。

事情を聞くと、今はサークルの会員数が10人に満たず、一人で複数出品しないと、作品発表の場として成立しないということであり、このような状況については大変危機感を感じている。

以上の事に関連して、上半期事業の参加者については、リピーターが多い状況なのか、あるいは新規の参加者もいるのでしょうか。講座の参加者も新陳代謝がないと、それは問題であると思うので実態を伺いたい。

例えば、堀兼公民館で実施している「竹林整備と竹の子掘り体験講座」について、このような体験講座は大変良い講座であると思い関心を持っているのだが、この講座の参加者の状況は。

事務局 毎年実施している講座で、参加者の約半数はリピーターであるが、毎年、初めての方も参加している状況である。

委員 柏原公民館では「サークル運営に職員が関わり、大変助かっていることから感謝していると」という話を伺い、職員にはサークル支援について、良くやってもらっているという感想をもった。

かつては、新しいサークルを作る要件として会員数が10名以上となっていた。公民館のサークル活動は、地域の文化度や元気度と関係していると思う。現在の、高齢化や少子化の状況が続くと、5年後にはサークル数が半減してしまうのではないだろうか。これは、社会教育として、ものすごく大きな問題であり、サークルの支援を真剣に考えないといけない時代に来ていると思う。

また、広瀬公民館の朗読事業の内容でウクライナの話も出ていたが、公民館全体として危機管理に関する取り組みが少ないと思うので、工夫してもらいが必要があると思う。特に、食糧問題については、過去の状況と比較しても、悪くなっているかと思う。国際紛争に限らず、身近な自己の危機管理能力が身につけていない社会は危険だと思うので、身の回りの生存権等についても問題提起をしてもらいたい。危機管理に関し、自己防衛能力を伝えることもあっても良いのではないか。

事務局 時事的問題・現代的課題として、我々の認識を高めていきたい。これから公民館職員共通の認識のもと、事業計画を立てられればと思う。

委員長 サークルの育成については、過去には、必死になってサークルを作った時代もあった。今は、サークルも貧弱になってきている面もあるかと思う。今後、真剣に考えていかなければならないと思う。

事務局 公民館の将来にも関わっているので、今後サークル支援に取り組んでいきたいと思っておりますので、見守っていただきたい。

サークルの会員が自ら講師となって講座を運営することで、自己の知識を還元し、生きがいを感じたり、仲間を増やしたりできるような、サークルが継続できるサポート事業にも取り組んでいる。

しかし、今は新たな講座を企画しても、サークルの結成までには至らないケースも多いことから、今後も継続して仲間づくりの仕掛けができれば良いと考えている。

委員 高齢者対象の事業が少ない館と多い館の差があると感じた。今は「フレイル」が話題になっているので、フレイル関係の講座を実施していただければと思う。

事務局 ご意見を反映して、今後の講座を計画できればと思う。

委 員 子育て支援事業に携わっているが。土曜日や日曜日に事業を実施すると若いお父さんが参加してくることが多い。

 公民館でも、父親として社会デビューできるようなイベントを企画し、若い世代を公民館に呼び込むことで、その後、参加者がネットワークを組んでもらえれば、公民館にも足を運んでもらえるようになるのではないかと。

 今は、子育て支援事業への若いお父さんの参加が多いので、子育て関連施設との共催のような形で実施できれば良いのではないかと。

事務局 中央公民館では、7月に親子参加の事業を実施したところ、若い夫婦が多く参加していたので、他館も含め、親子で参加できるような事業の実施を、今後検討していきたい。

4 その他

- (1) 次回狭山市公民館運営審議会の開催時期について
- (2) その他

5 閉 会